

Morningstar Analysis Report of The Fund



ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド

『愛称：ロイヤル・マイル』

追加型投信／内外／株式



Morningstar Award “Fund of the Year 2020” 国際株式型(グローバル) 部門 最優秀ファンド賞 受賞

評価基準日：2020年12月31日 国際株式型(グローバル) 部門(対象ファンド：579本)
モーニングスター・類似ファンド分類：国際株式・グローバル・除く日本(F) ベンチマーク：なし

Morningstar Award “Fund of the Year 2020”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2020年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型(グローバル) 部門は、2020年12月末において当該部門に属するファンド579本の中から9本選考されました。

※モーニングスター・類似ファンド分類の「(F)」は為替ヘッジなしを指す。

※当該評価は過去の一定期間の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

■ 設定・運用は

三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

※巻末の「三菱UFJ国際投信からの留意事項」を必ずご覧ください。



最優秀ファンド賞

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド

『愛称：ロイヤル・マイル』

評価基準日：2020年12月31日 国際株式型(グローバル) 部門(対象ファンド：579本)

モーニングスター・類似ファンド分類：国際株式・グローバル・除く日本(F) ベンチマーク：なし

※モーニングスター・類似ファンド分類の「(F)」は為替ヘッジなしを指す。

投資方針

当ファンドは、日本を含む世界各国の株式を投資対象として中長期的な値上がり益の獲得を目指すアクティブファンドである。投資対象は、独自の調査に基づく長期の視点で高い成長が期待される企業で国や地域、業種、時価総額等には捉われない。参考指数は、MSCI オールカントリー・ワールド インデックス(配当込み、円ベース)とする。投資先ファンドの運用は、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッド(以下、ベイリー・ギフォード)が運用を行う。年1回(1月25日)決算。なお、過去の運用報告書によると、当ファンドは日本の組入が低い傾向にあることから、モーニングスターでは「国際株式・グローバル・除く日本(為替ヘッジなし)」に分類している。

市場動向および資金動向等により、上記のような運用ができない場合があります。

選定ポイント

2020年のトータルリターン・運用の効率性はいずれも実質第1位

2020年のトータルリターンは83.47%と、類似ファンド分類平均を80.17%上回った。類似ファンド分類内では、資源株や高配当株等に注目したファンドなどに対して優位となり上位2%(112本中第2位)と極めて優れた成績を獲得した。第1位は当ファンドと同じ投資先ファンドに投資を行う確定拠出年金専用ファンド(以下、DC専用ファンド)となっており、実質的には当ファンドが第1位となっている。四半期ごとのトータルリターンは、4四半期の全てにおいて類似ファンド分類平均を上回った。特に、類似ファンド分類平均が20%以上下落した1-3月期に上位2%となっただけでなく、同平均が18%以上上昇した4-6月期も上位3%となった。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で投資環境が急変した局面においても、柔軟性があり競合優位性の高い企業に着目する運用方針が功を奏した。

2020年のシャープレシオは3.19と、類似ファンド分類平均を3.08上回り、類似ファンド分類内で上位2%(112本中第2位)、トータルリターンと同様に第1位はDC専用ファンドとなっており、実質的には当ファンドが第1位となった。

設定来の累積リターンは参考指数を93%上回る、6カ月リターンでは13カ月連続で上位10%以内

投資先ファンドは、2020年12月時点の業種別比率では5割弱を「一般消費財・サービス」が占めており、参考指数の13%を大きく上回る。また、国別にみると約5割を米国、次いで約3割の中国、オランダ、フランスなどとなっており、参考指数と比較すると、中国や欧州諸国の一角が高い特徴的なポートフォリオとなっている。

2020年12月末時点での設定(2019年1月)来の累積リターンは121.65%となっており、参考指数を93.17%上回っている。設定来の6カ月トータルリターンの推移(ローリングリターン)は、2020年12月までの過去18カ月間のうち、15カ月間でプラスとなり、14カ月で類似ファンド分類平均を上回った。特に、2019年12月以降は13カ月連続で類似ファンド分類内では上位10%以内となっており、運用成績の向上が目立つ。

長期視点の投資とメンバーの定着率の高さが強み、海外籍ファンドは5ツ星

投資先ファンドの運用は、スコットランドに拠点を持つ、ベイリー・ギフォードのグローバル株式運用戦略である「ロングターム・グローバル・グロース戦略(LTGG戦略)」を活用し、10年先を見据えた長期の視点で銘柄を選定する。一定の数値基準でスクリーニングをするようなことはせず、メンバー各人の好奇心と熱意の対象となる分野や企業リサーチを奨励する方針が特徴的である。

運用はチーム運用制をとっており、ファンドマネジャー4名、5名のアナリストの計9名が所属する。主担当は運用・調査経験年数24年のマーク・アーカート氏と同20年のトム・スレーター氏が共同で行う。アーカート氏は大学院を卒業後、1996年にベイリー・ギフォードに入社し、以降は一貫してベイリー・ギフォードに在籍している。ベイリー・ギフォードではアーカート氏と同様に、大学卒業から一貫して在籍するメンバーも少なくなく、離職率は5%以下にとどまっている。参考として、アーカート氏とスレーター氏が共同で運用を行う海外籍のグローバル株式ファンド^(*)の運用成績をみると、2020年12月末時点では3年トータルリターンが欧州モーニングスターカテゴリー内では上位1%、モーニングスターレーティングは5ツ星となっている。

※海外籍のグローバル株式ファンド=「Baillie Gifford Worldwide Long Term Global Growth Fund」、運用成績はオールデストシェアクラス、純資産額は各シェアクラスの合計値、カテゴリーは「EAA Fund Global Large-Cap Growth Equity」内での評価

この資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としてはいません。本資料上の情報は過去のパフォーマンスに基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

※巻末の「三菱UFJ国際投信からの留意事項」を必ずご覧ください。

「ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド『愛称:ロイヤル・マイル』」(以下、『ロイヤル・マイル』)は、日本を含む世界各国の株式等を投資対象として中長期的な値上がり益の獲得を目指す、為替ヘッジなしのアクティブファンドです。過去の運用報告書では日本の投資比率が低い傾向にあったことから、モーニングスターの類似ファンド分類では「国際株式・グローバル・除く日本(為替ヘッジなし)」に属しています。

2020年のリターンは83%超、類似ファンド分類内で上位2%

2020年のトータルリターンは83.47%と、類似ファンド分類平均を80.17%上回り、類似ファンド分類内では、上位2%(112本中第2位)と優れた成績を獲得しました。第1位は当ファンドと同じ投資先ファンドに投資を行う確定拠出年金専用ファンド(以下、DC専用ファンド)となっています。

(図表1) 2020年トータルリターンランキング

順位	ファンド名	1年	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
1	<DC>ベイリー・ギフォード世界長期成長株F	84.07%	-5.67%	41.33%	19.74%	15.31%
2	ベイリー・ギフォード世界長期成長株F	83.47%	-5.65%	41.15%	19.59%	15.20%
3	世界スタートアップ&イノベーション株式F	78.02%	-8.30%	43.74%	13.19%	19.33%
4	野村 SNS関連株投資Bコース	69.44%	-21.53%	44.48%	21.05%	23.47%
5	eMAXIS Neo ウェアラブル	62.79%	-10.01%	23.86%	18.38%	23.36%
6	グローバル・スマート・イノベーション(年1回)	58.45%	-9.16%	31.16%	14.50%	16.15%
7	インターナショナル株式アクティブ(ラップ)	42.65%	-15.69%	27.76%	13.73%	16.44%
8	大和住銀 DC海外株式アクティブファンド	39.03%	-16.86%	26.98%	13.59%	15.94%
9	大和住銀 DC外国株式ファンド	38.76%	-16.95%	26.94%	13.60%	15.87%
10	ミレーA・G・Gコンシューマー株式II豪ドル毎	32.28%	-28.00%	37.74%	13.40%	17.63%

※2020年12月末時点

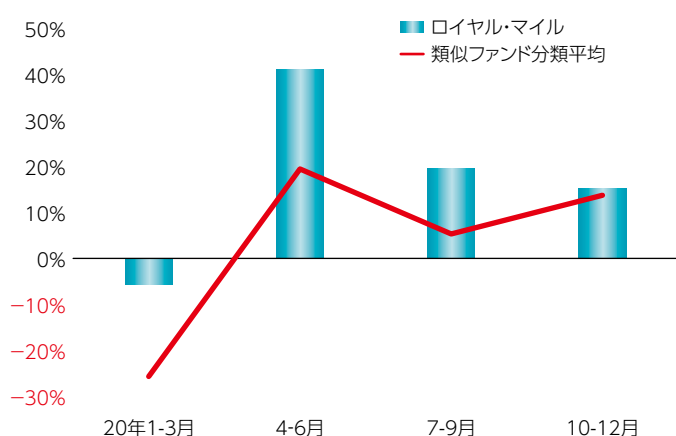
※「国際株式・グローバル・除く日本(為替ヘッジなし)」に分類される112本を1年トータルリターンの大きい順でランキング

※税金・手数料等を考慮していません。

作成:モーニングスター

2020年の相場急変時にも好調だったリターン

(図表2) 2020年の四半期リターン



※期間:2020年の各四半期

※類似ファンド分類平均=モーニングスターインデックス「国際株式・グローバル・除く日本(為替ヘッジなし)/類似(単純)」

※税金・手数料等を考慮していません。

作成:モーニングスター

四半期ごとのトータルリターンは、4四半期の全てにおいて類似ファンド分類平均を上回りました。特に、類似ファンド分類平均が25%以上下落した1-3月期に上位2%のマイナス5.65%となっただけでなく、同平均が19%以上上昇した4-6月期も上位3%の41.15%となりました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で投資環境が急変した局面においても、柔軟性があり競合優位性の高い企業に着目した運用が功を奏したといえます。

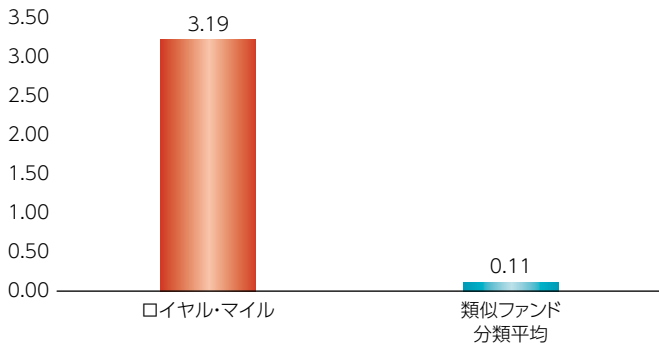
この資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としてはいません。本資料上の情報は過去のパフォーマンスに基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

※巻末の「三菱UFJ国際投信からの留意事項」を必ずご覧ください。

2020年のシャープレシオは3.19と優れた運用効率

『ロイヤル・マイル』の2020年のシャープレシオは3.19と、類似ファンド分類平均を3.08上回り、類似ファンド分類内で上位2%(112本中第2位)という優れた成績になりました。また、トータルリターンと同様に第1位は当ファンドと同じ投資先ファンドに投資を行うDC専用ファンドでした。

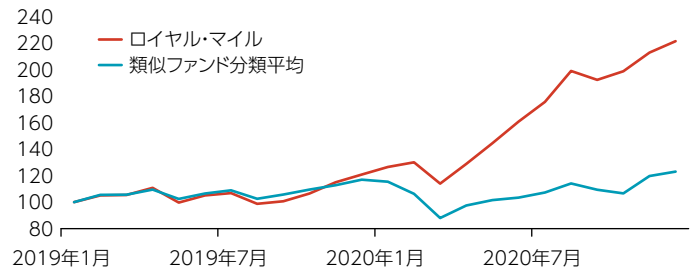
(図表3) シャープレシオの比較(2020年12月末)



シャープレシオはリスクに見合ったリターンを得ているかを表す指標です。この数値が高いほど、そのファンドは高い評価となります。リスクを量る尺度として、標準偏差を使用します。
 ※類似ファンド分類平均=モーニングスターインデックス「国際株式・グローバル」除く日本(為替ヘッジなし)
 作成:モーニングスター

同ファンドの設定来のトータルリターンは、2020年になってから、類似ファンド分類平均を大きく上回って上昇しました。同ファンドの設定時を100とすると、2020年12月末時点では同ファンドが222、類似ファンド分類平均が123となっています。

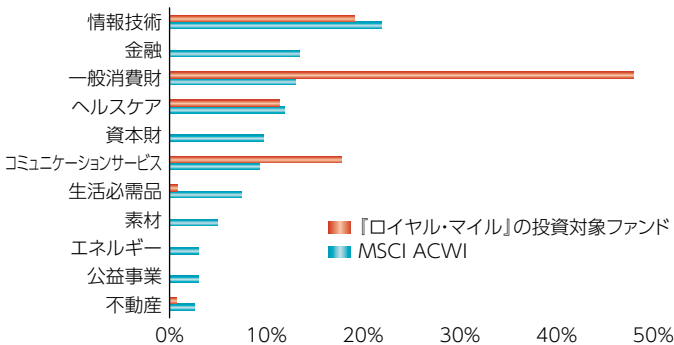
(図表4) 設定来のトータルリターンの推移



※期間:2019年1月~2020年12月(月次)
 ※類似ファンド分類平均=モーニングスターインデックス「国際株式・グローバル」除く日本(為替ヘッジなし)
 ※上記は基準価額(1万口当たり)、運用管理費用(信託報酬)控除後の値を使用しています。
 ※当ファンドの信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
 ※それぞれ2019年1月末=100
 ※税金・手数料等を考慮していません。
 作成:モーニングスター

参考指数に囚われない独自のポートフォリオ

(図表5) 業種別組入比率(2020年12月末)

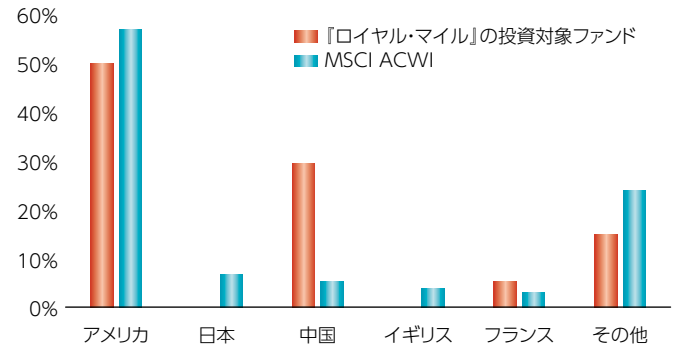


※参考指数は、MSCI オールカントリー・ワールドインデックス(配当込み、円ベース)です。参考指数は、当ファンドのベンチマークではありません。
 作成:モーニングスター

『ロイヤル・マイル』の投資対象ファンドを運用しているベイリー・ギフォード社は、スコットランドに運用拠点を置き、成長株への長期投資を文字通り実践している会社として知られています。『ロイヤル・マイル』が活用しているグローバル株式運用戦略「ロングターム・グローバル・グロース戦略(LTGG戦略)」は同社を代表する投資戦略です。

2020年12月末時点で、『ロイヤル・マイル』の投資対象ファンドのポートフォリオの中身と、全世界株式の代表的な

(図表6) 地域別(国別)組入比率(2020年12月末)



※参考指数は、MSCI オールカントリー・ワールドインデックス(配当込み、円ベース)です。参考指数は、当ファンドのベンチマークではありません。
 作成:モーニングスター

株価指数であるMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(ACWI)の構成銘柄(約3,000銘柄)について、業種別組入比率と地域別(国別)組入比率を比較すると大きな違いがあることが分かります。

『ロイヤル・マイル』の投資対象ファンドのポートフォリオは運用チームが投資に値すると判断した銘柄を積み上げた結果になっています。

この資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としてはいません。本資料上の情報は過去のパフォーマンスに基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

※巻末の「三菱UFJ国際投信からの留意事項」を必ずご覧ください。

投資銘柄は厳選して長期保有

(ご参考) (図表7) 組入上位5銘柄(2008年3月)

順位	銘柄	国・地域	業種
1	Petroleo Brasileiro	ブラジル	エネルギー
2	Atlas Copco	スウェーデン	資本財・サービス
3	Porsche Automobil Holding	ドイツ	一般消費財
4	Sandvik	スウェーデン	資本財・サービス
5	VALE	ブラジル	素材

(2020年12月末)

順位	銘柄	国・地域	業種
1	TESLA INC	アメリカ	一般消費財
2	PINDUODUO INC-ADR	中国	一般消費財
3	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財
4	MEITUAN-CLASS B	中国	一般消費財
5	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	コミュニケーションサービス

※図表7は当ファンドの投資対象ファンドと同一運用戦略の代表ファンドのポートフォリオの上位5銘柄です。

※国・地域は、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの定義に基づいています。

※業種はGICS(世界産業分類基準)のセクターで分類。

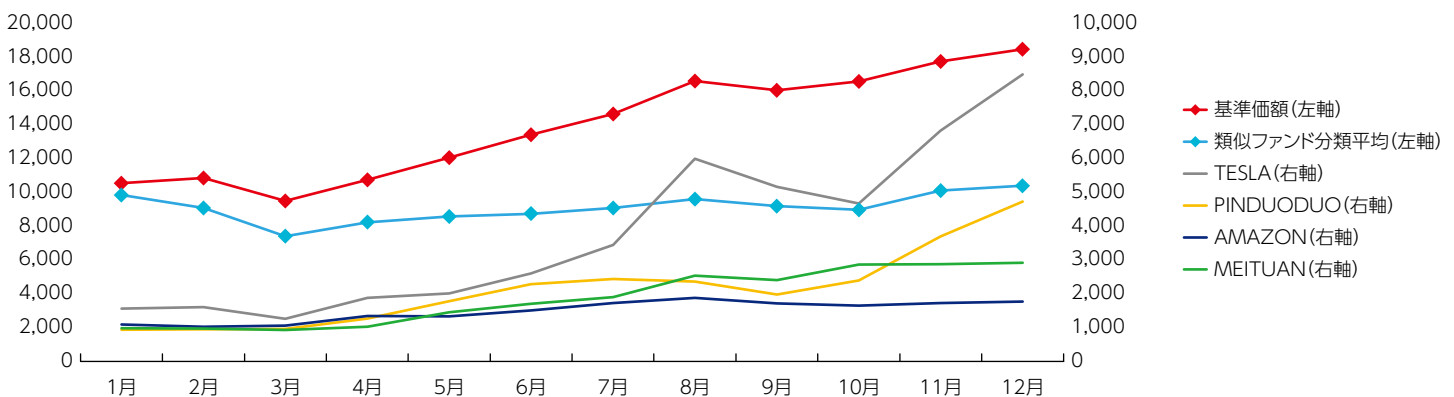
作成:モーニングスター

ベイリー・ギフォード社の運用は、徹底した企業調査の上で投資に値する銘柄を、長期に保有し続けるという特徴があります。2020年の当ファンドの組入上位10銘柄のうち7銘柄は1年間を通じて組入上位10銘柄に入っていました。

ただし、投資対象ファンドと同一運用戦略のポートフォリオで2008年3月のリーマンショック前にトップ5に入っていた「エネルギー」や「素材」といった業種は、2020年12月末時点には1銘柄も入っていません。時には大胆に銘柄を入れ替えることで、時代の変化にも対応してきました。

厳選された銘柄で構成されたポートフォリオにおける分散投資効果

(図表8) 基準価額と組入上位4銘柄の株価の推移



※基準価額(1万口当たり)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。

※信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

※上記は当ファンドの理解を深めていただくため、投資対象ファンドにおける組入上位4銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

※組入上位4銘柄は2020年12月末基準

※税金・手数料等を考慮していません。

※2020年1月末～2020年12月末(月次)、類似ファンド分類平均は、モーニングスターインデックス「国際株式・グローバル・除く日本(為替ヘッジなし)」

※基準価額と類似ファンド分類平均は2019年12月末=10,000、TESLAとPINDUODUOとAMAZONとMEITUANIは2019年12月末=1,000、株価は米ドル換算

作成:モーニングスター

『ロイヤル・マイル』の投資対象ファンドのポートフォリオの特徴は、参考指数を意識することなく、長期に成長が見込まれる銘柄に厳選投資することです。ポートフォリオに組み入れる銘柄は2020年12月末現在、34銘柄と限られた数になっています。そのため、組入銘柄の1つ1つの株価の動きがパフォーマンスに大きな影響を与えます。

2020年12月末現在、組入比率トップの電気自動車メーカーである『テスラ』(TESLA)の株価が2020年を通じ、8倍以上に上昇し基準価額を大きく引き上げることに貢献しました。ただ、9月～10月に『テスラ』が下落に転じた時には、組入比率第2位の共同購入サイトの『拼多多』(PINDUODUO)や同4位のECサービスの『美团』(MEITUAN)が上昇したことで基準価額の下落を抑えました。厳選された銘柄で構成されたポートフォリオにおいて、分散投資効果が発揮されていることも確認できます。

この資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としてはいません。本資料上の情報は過去のパフォーマンスに基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

※巻末の「三菱UFJ国際投信からの留意事項」を必ずご覧ください。

運用チームは長期の運用を前提にして編成

(図表9) LTGG戦略の運用チーム

氏名	役職名	運用経験年数	担当年数
Mark Urquhart マーク・アーカート	ファンドマネージャー (共同主担当、チームリーダー)	24年	13年
Tom Slater トム・スレーター	ファンドマネージャー (共同主担当)	20年	11年
James Anderson ジェームズ・アンダーソン	ファンドマネージャー	37年	13年
John MacDougall ジョン・マクドゥーガル	ファンドマネージャー	20年	5年
Linda Lin リンダ・リン	アナリスト	10年	6年
Michael Pye マイケル・パイ	アナリスト	7年	3年
Robert Wilson ロバート・ウィルソン	アナリスト	4年	1年
Gemma Barkhuizen ジェマ・バークハウゼン	アナリスト	3年	2年
Jacob Teal ジェイコブ・ティール	アナリスト	1年未満	1年未満

※2020年12月末時点
作成:モーニングスター

ベイリー・ギフォード社は現役社員である46名のパートナーが経営するパートナーシップ組織です。株主から四半期の利益進捗などを追求されることなく長期の目線で経営し、運用していくことが可能になっています。

運用部メンバーは100名以上が在籍していますが、全て、ボトムアップのファンダメンタルズ調査を行っています。離職率は5%未満と低く、過去の調査や世界株式への投資の知見が社内に蓄積されています。

「LTGG戦略」の運用チームも、運用経験が30年を超えるベテランから3年～4年の若手までバランスの良いメンバー構成になっています。このチームには新卒のアシスタントが1名加わって運用の実務を学んでいます。このように、長期にわたって人材を大切に育てる企業文化が根付いていることが、長期投資を成功に導く大きな支えになっています。

アーカート氏とスレーター氏の共同で運用するファンドは高い評価を獲得

『ロイヤル・マイル』が活用する「LTGG戦略」は、現在4人のファンドマネージャーと5人のアナリストの9人のチーム(うち、1人は新卒のアシスタント)で担当しています。9人は全て企業調査を行っています。特に、それぞれが担当地域や業種などを持つことなく、個々の興味・関心があることを徹底的に調査し、そこで生まれた投資アイデアをチームで議論します。最終的に投資判断を行うのは、チームリーダーのマーク・アーカート氏と共同主担当のトム・スレーター氏の2人です。

2人が共同担当者になっている海外籍のグローバル株式ファンドは、2016年8月10日設定の「Baillie Gifford Worldwide Long Term Global Growth Fund」の他、登録地や投資対象が異なる6本が確認できましたが、運用方針は変わりません。うち、モーニングスターの格付けが付与されている3本は全て最高位の5つ星(★★★★★)(評価基準日:2020年12月末現在)を獲得しています。

そもそも「LTGG戦略」は、マーク・アーカート氏とジェームズ・アンダーソン氏が2003年に戦略を創設し、共同主担当者としてチームを率いてきました。その後、トム・スレーター氏が2009年に加入し、2011年から共同主担当者になり、3人で投資判断を行いました。

ジェームズ・アンダーソン氏は2020年に自らの意思で調査に専任することを選び、投資判断の決定やポートフォリオ管理などをマーク・アーカート氏とトム・スレーター氏の2人に譲ったということです。現在もアンダーソン氏はチームに残っていて、長期にわたる運用を支えています。

(図表10) マーク・アーカート氏とトム・スレーター氏が共同担当する格付けの付与されているファンドのパフォーマンス

ファンド名	国籍	MSレーティング	純資産残高	1年トータルリターン(%、米ドル)			
				2020年	2019年	2018年	2017年
Baillie Gifford Worldwide Long Term Global Growth Fund	アイルランド	5	15.48億米ドル	101.02	35.11	-2.13	53.48
Baillie Gifford Worldwide Long Term Global Growth Fund	アイルランド	5	12.65億ユーロ	100.09	35.30	-2.36	54.29
Baillie Gifford Long Term Global Growth Investment Fund	英国	5	44.29億ポンド	103.11	35.98	-2.10	

※2020年12月末時点
作成:モーニングスター

※上記は、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績を示したものではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。
※同一名称のファンドについては、シェアクラスの違うファンドを別ファンドとして掲載しています。

この資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としてはいません。本資料上の情報は過去のパフォーマンスに基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

※巻末の「三菱UFJ国際投信からの留意事項」を必ずご覧ください。

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(愛称:ロイヤル・マイル)

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動リスク	主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に組み入れる株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は、株式市場全体の動向のほか、発行企業の業績や業績に対する市場の見通しなどの影響を受けて変動します。組入株式の価格の下落は、基準価額の下落要因となります。
為替変動リスク	主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に外貨建資産に投資を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。
信用リスク	株式の発行企業の経営、財務状況が悪化したり、市場においてその懸念が高まった場合には、株式の価格が下落すること、配当金が減額あるいは支払いが停止されること、倒産等によりその価値がなくなること等があります。
流動性リスク	株式を売買しようとする際に、その株式の取引量が十分でない場合や規制等により取引が制限されている場合には、売買が成立しなかったり、十分な数量の売買が出来なかったり、ファンドの売買自体によって市場価格が動き、結果として不利な価格での取引となる場合があります。
カントリー・リスク	ファンドは、新興国の株式に実質的な投資を行うことがあります。新興国への投資は、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響などを受けることにより、先進国への投資を行う場合に比べて、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- ・投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位/販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位/販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ダブリンの銀行の休業日およびその前営業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までには販売会社が受けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象証券の取得・換金の制限、投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	2029年1月25日まで(2019年1月31日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。 なお、ファンドが主要投資対象とする外国投資証券が存続しないこととなった場合には繰上償還となります。
決算日	毎年1月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。) 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※巻末の「三菱UFJ国際投信からの留意事項」を必ずご覧ください。

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.30%(税抜 3.00%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンド 日々の純資産総額に対して、 年率1.5895%(税抜 年率1.4450%) をかけた額
	投資対象とする 投資信託証券 投資対象ファンドの純資産総額に対して 年率0.055%以内 (マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。)
	実質的な負担 ファンドの純資産総額に対して 年率1.6445%程度(税抜 年率1.5000%程度) ※ファンドの信託報酬率と、投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。
その他の費用・ 手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

販売会社情報一覧

ファンド名称:ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(愛称:ロイヤル・マイル)

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第6号	○	○		
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第370号	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
FFG証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第5号	○			
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
株式会社熊本銀行 (4月1日から取扱開始)	登録金融機関 九州財務局長(登金)第6号	○			
株式会社CONNECT	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3186号	○			
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第21号	○			
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第10号	○			
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社十八親和銀行 (4月1日から取扱開始)	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第3号	○			
株式会社中国銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第2号	○		○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
株式会社栃木銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第57号	○			
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1977号	○			
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第50号	○			○
株式会社福岡銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第24号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(2021年3月25日現在)

三菱UFJ国際投信からの留意事項

- 当資料は、三菱UFJ国際投信が作成した販売用資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。
- 当資料中面に記載された記事は、モーニングスター株式会社が作成したものです。また当資料における内容は作成時点のものであり今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。